大江首席交渉官代理とカトラー米国通商代表部代表補の協議後記者会見概要

日時：3月28日（金）17:48～18:00

場所：ナショナル・プレス・ビルディング（米国、ワシントン DC）

1. 冒頭発言

今回またワシントンに来ることになり、昨日今日と2日間、カトラー一次席通商代表代行と協議を行った。事務レベルは私より一日早く訪米し、水曜から三日間協議を行った。来週は並行協議がある。一連の協議を通じてまた進展を図ろうとしている。山は確実に登っているので、頂上は近づいているはずだが、なかなか天辺が見えない状況が続いている。ある人が、登っている人間には頂上は見えないと言っていた。あるとき急に視界が開けることを期待しているが、まだそういう状況には至っていない。まだ論点も多いし、詰めるべきことも多いが、一つ一つ議論しており、わずかながらも前よりは頂上に近づいていると思う。

2. 質疑応答

（記者） 前は農産品5品目のうち特にアメリカの関心の高い品目を中心に協議したとのことだが、今回は特に何を議論したのか。

（大江代理） 私がやっているところと、事務レベルがやっているところがある。私はアメリカの関心の特に深い品目を中心にやっている。全体としてまだ、議論すべき品目が多く残っており、より広い品目について事務レベルで協議を進めている。

（記者） 今回の交渉においてブレイク・スルーはあったのか。

（大江代理） ブレイク・スルーはなかった。ゆっくりだが着実に進めている。

（記者） 具体的にどの品目について進展があったのか。

（大江代理） 具体的にはお答えできない。

（記者） この後の段取りについて何か申し合わせた事項はあるか。

（大江代理） 具体的な日にちについては調整が必要だが、今回二回続けて私が

こちらに来たので、次回はそんなに遠くない時期に、数週間後に向こうから日本に来ることになるのではないかと思う。

（記者）オバマ大統領の訪日が近づいているが、そこを目がけて進展させているのか。

（大江代理）前回は申し上げたが、交渉ごとなので交渉にデッドラインを設けることはしない。実質的な交渉を始めてから時間が経っているので、できるだけ進めていかなければならないと思っている。

（記者）オバマ大統領の訪日を一つの目処として今作業しているのか、それとも訪日とは関係なく作業しているのか。

（大江代理）デッドラインという形では位置づけていないが、オバマ大統領の訪日は一つの大きな節目ではあるので、できるだけ進展させたいと思っている。

（記者）安倍総理とオバマ大統領が交渉を加速化することで一致し、その後間もなく開催された今回の協議だが、先方の態度から加速化したいという意気込みは感じられたか。

（大江代理）交渉ごとなので、双方ともできるだけ早くまとめたいという気持ちは共有している。中身に関係なくとはいかないので、できることはできるし、できないことはできない。一足飛びということにはならない。

（記者）一歩ずつ議論が進んでいるとのことだが、溝はまだ深いのか。

（大江代理）隔たりはまだかなり大きいと言わざるを得ない。

（記者）前回の協議と比べて特に加速したわけではなく、徐々に少しずつ進んでいるということか。

（大江代理）やはり一気にというわけにはいかない。少しずつ間合いが狭まっている。前回終わったときも間合いは少し狭まったし、今回も来たときよりは間合いが狭まった。

（記者）間合いが狭まるスピードは変わっていないのか。

(大江代理) 変わっていないかもしれないが、少しずつ間合いが狭まっている。

(記者) 今事務方での協議を進めており、今後も一回あるとのことだが、いずれかの段階で政治判断が必要になると思われる。そのタイミングはいつになると思うか。

(大江代理) タイミングというか、やはり政治レベルでやるためには、ある程度事務レベルで間合いを十分縮めていく必要がある。政治的にやっても多分決裂に終わるということは望ましくない。政治レベルの決断にもっていくためにも、事務レベルでの間合いを狭めていきたい。

(記者) それはまだ遠いか。

(大江代理) 遠くないことを希望している。今の段階では何とも言えない。

(記者) 昨日今日の会談で目指していた目標はあったか。その目標は達成されたか。

(大江代理) 今回ここまで進めたいという目標はなかった。全体としてだいたい論点がわかってきているので、それをどこまで進めることができるかいうことでやってきた。

(記者) 今やっていることは、政治判断を仰ぐための選択脚を絞っているという理解で良いか。

(大江代理) 前回はガラス細工を積み上げるような作業であると申し上げたが、一つの品目の中でもいろいろな要素の組み合わせがあるし、またいろいろな品目同士が全体としてパッケージとなり得る。政治レベルにあまり沢山のものを持ち込むことはできないので、できるだけ間合いを狭めていきたい。

(記者) オバマ大統領の訪日前に、もう一回、数週間後に協議するとのことだが、協議は一回というイメージか。あるいは二回か。

(大江代理) やって見ないとわからない。

（記者）事務レベルで詰まらないと、政治的な判断を仰ぐことができないとのことだが、現状だとまだ政治判断を仰ぐというところまで事務的な作業は進んでいないという状況か。

（大江代理）今日の段階ではそうである。

（記者）前回の協議後、すぐに今回の協議が実施されたが、日米の立場の違いが縮まっているということか。

（大江代理）ご存じのとおり、先般の日米首脳会談において両首脳は交渉を加速化させることに合意した。右合意に基づき、今回ワシントンに来た。

（以上）